

でも降らさねば

は動かぬぞ

右の途方もない荒ばい鼻息
になつて村から村への演説
は二回三回乃至三回
動さなれば足許に附
山圓札一枚
難上げら
も知れない
起るであらうが是れ
らへは最も便宜で
りの相場は更に高く
今日では二里の間

根も葉も枯らす
當局の所存

嵐の跡の製鐵所
一切斯る事

正な
断戦
三月一日未明から八時許に一齊召
喚せられた百餘名の製鐵所職工
の中計は滋養未了の故を以て
其の體管内に留置かれ他は全部
退を許された事は既報したが
○一日夕刻迄
卅餘名の召喚者があつた前に殘つ
た卅餘名の計十五名は密を認め
了つて歸還を許されたが未だ署内
には四十六名を査されつゝある
友愛會幹部は未だ調査を了らな
く松本署長安達は調査を始め常
に三十八十一名の逐
に八十三名を
度の事件を授けし今後



候補者
資本案側の
八幡の街に

同會

同會

くの檢査者を見るに至るであらう
重に製鐵所は労働團體の根も葉も
枯らさねばやまぬ氣運込みたさ
人は云つて居た友愛會中其區出
所には「聯合受取りのお方はお入
りなさい」と照紙して會員より
り製鐵所中であつた先日小倉の興
で開かれた
の職員、友愛、男女兩會の會員た
る職工は一切使用せぬ旨に申合せ
た相次幹部を失ひ復讐先を斷首
されるに至つた男女友會は四十三
會の二の舞をするには至るまいか
と會員の一人は長太息を洩らして
めた一が製鐵所では四十本の煙突
より吐く煙々たる黒煙は泥く八幡
の空を蔽ひ鐵道の電線に
耳を聳く萬々の音等
い難言は是等職工の耳には痛
切な皮肉に聞かされるやうな中央
機關の演説と共に久しく不安に
悩まれて居た市民も活潑運動を開始
し密々立ち上つた職望も此處に一
切があら

倫敦の漂泊兒
同會